

平成28年度 学校自己評価報告書

1 地域との連携・協働による教育

考察等	◎保護者や地域との連携と信頼関係の構築、学校運営委員会への関心など、すべての項目において自分たちの取り組みを評価している。子どもの成長には地域や保護者とのかわりは重要である考え、実践している。 ○地域の行事への協力が一部の教員に偏っている傾向がある。
改善策	○地域の行事の開催を教職員に周知徹底するとともに、地域の願いを把握するよい機会であることを意識して、可能な限りの協力を促す。

2 「世田谷9年教育」で実現する質の高い教育の推進

(1) 学習指導

考察等	◎学習指導のほとんどの項目で、自信をもって自分たちを価値付けている。研究主任を中心に「主体的・協働的な学習」に取り組んだ成果によるものである。 ○指導方法の工夫改善に積極的に取り組む。
改善策	○ICTの活用や体験的な学習、問題解決的な学習を単元や授業の中に位置付けるとともに、一方的な教え込みの授業になっていないか再確認し、生徒主体の授業を推進する。

(2) 学校行事

考察等	◎学年別の縦のつながりを大切にした縦割りの取り組みが定着したとともに、生徒自らが考え、行動する場面を多く設定したことで、生徒の自己有用感が高まり、達成感や充実感を感じる生徒が多かったことが高い評価につながった。
-----	---

(3) キャリア教育・進路指導

考察等	◎キャリア教育の内容を整理し、系統的・計画的に実施し、各学年でその成果をあげたことがよい評価につながった。 ○生徒や保護者の意識も向上させる必要がある。
改善策	○進路指導＝進学指導という意識を変えていくとともに、「生徒がこれからの世の中を生きていく上で必要な力を身に付けていく教育がキャリア教育である。」ということとそのための本校の取り組みを周知徹底する。

(4) 世田谷9年教育

考察等	◎学習状況を確認する仕組みに基づいて、学舎の小学校と連携して、計画的に指導方法の工夫改善を検証し、協議を行っている。生徒の授業への評価も高い。 ○小中のつながりがまだ不十分であると考えている意見もある。
改善策	○次年度は小学校の授業を参観する機会が増えるので、お互いのよさや課題を確認し、児童・生徒の学力向上のための中身の濃い話し合いを進める。

3 信頼と誇りのもてる学校づくり

考察等	◎全体的に自分たちの取り組みを高く評価している。保護者や地域の意見を計画的に収集・分析して迅速な改善に努めていること、全教員が校内研究に取り組み、効果をあげていること、計画的な研修や新聞の切り抜きで服務事故防止に努めていること、熱中症や感染症の予防の徹底や保護者との面談などアレルギー等の対応に迅速に取り組んでいること、情報発信の重要性など、次年度も引き続き高い水準で取り組んでいく。
-----	--

4 安全安心と学びを充実する教育環境の整備

考察等	◎全体的に自分たちの取り組みを高く評価している。生徒にとって安心かつ安全で、充実した学習環境が整うよう点検や管理を適切に行い、教育環境の整備に努めていく。
-----	---